

和 漢 診 療 学

教 授	寺 澤 捷 年
助教授(前)	土 佐 寛 順
助教授(前)	檜 山 幸 孝
講 師	林 隆 一
講 師	松 田 治 己
助 手	嶋 田 豊
助 手	島 田 多佳志
助 手	高 橋 宏 三

◆ 著 書

- 1) Terasawa K.: 「KAMPO (JAPANESE ORIENTAL MEDICINE) — Insights From Clinical Cases」 Co-trans. by Bacowsky H. and Gerz A., K. K. STANDARD McINTYRE, Tokyo, 1993.
- 2) 寺澤捷年: 「絵でみる和漢診療学」 JJN スペシャル No. 36, 医学書院, 東京, 1993.
- 3) 寺澤捷年: 漢方薬. 「治療薬マニュアル」 菊地方利, 北原光夫, 関 顕, 松枝 啓編, 893-921, 医学書院, 東京, 1993.
- 4) 寺澤捷年: こんな病気にはこんな漢方 循環器系編. 「これだけは知っておきたい漢方治療」 46-53, 日本放送出版協会, 東京, 1993.

◆ 原 著

- 1) Toriizuka K., Hagino N., and Terasawa K.: Neuroendocrinological Approach for Examining the Mechanisms of Action of Toki-Shakuyaku-San (TJ-23) on the Activity of Tyrosine Hydroxylase in the Brain. PHYTOTHERAPY RESEARCH 7: S70-S72, 1993.
- 2) Shimizu M., Matsuzawa T., Hase K., Tsurumi Y., Seki T., Morohashi M., Toriizuka K., Terasawa K., Honda T., and Morita N.: Studies on Bathing Agent I. Anti-inflammatory Effect of Bathing Agent Used for Skin Disease. Shoyakugaku Zasshi 47: 1-4, 1993.
- 3) Shiotani Y., Terasawa K., Miyashiro H., Hattori M., Komatsu K., Xiao-Bo Li and Namba T.: Studies on the anti-inflammatory effects of the Chinese crude drug 'Shoma' (Cimicifugae Rhizome). J. Med. Pharm. Soc. WAKAN-YAKU 10: 110-117, 1993.
- 4) 宮田知幸, 日野晃紹, 桑原泰則, 川村亮寿, 柴原直利, 加藤正夫, 土佐寛順: 振動障害患者に対する温泉浴と漢方薬の併用効果 (第2報). 日本

温泉気候物理医学会雑誌 56: 220-226, 1993.

- 5) 奥田忠行, 角田美鈴, 松井祥子, 檜山幸孝: エルゴメーター負荷の体位における酸素摂取量の変化. 医学検査 42: 1378-1383, 1993.
- 6) 奥田忠行, 松井祥子, 檜山幸孝, 鍛冶利幸, 新谷憲治, 櫻川信男: 酸素摂取量測定上の注意点—特に呼吸の影響について—. 臨床検査 37: 205-208, 1993.
- 7) 喜多敏明, 嶋田 豊, 西条寿夫, 小野武年: サル中隔核のニューロン活動と報酬獲得行動. 第13回肥満学会記録誌: 146-148, 1992.
- 8) 池田成子, 沼田このみ, 武田憲夫, 片山寿夫, 窪田靖夫, 松田治己: ステロイド投与中の多発性筋炎患者にみられた網膜色素上皮症. 眼紀 44: 1546-1551, 1993.
- 9) 小泉富美朝, 霜田ふゆみ: RA 滑膜炎組織におけるマクロファージ系細胞および多核巨細胞の分布とその意義. 臨床免疫 25: 362-369, 1993.
- 10) Kawaguchi M., Sakai T., Ishizawa S., Shimoda F., Kitagawa K., Kaji T. and Koizumi F: Immunohistochemical comparison between multinucleated giant cells which appear frequently in the tonsils of patients with pustulosis palmaris et plantaris and in other granulomatous inflammatory lesions. Advances in Oto-Rhino-Laryngology 47: 213-221, 1992.

◆ 症例報告

- 1) 松田治己, 寺澤捷年: 慢性関節リウマチ, 糖尿病, 糖尿病性腎症, 高血圧症を合併した1症例. 現代東洋医学 14: 172-175, 1993.

◆ 学会報告

- 1) 引網宏彰, 柴原直利, 古田一史, 小暮敏明, 嶋田 豊, 松田治己, 檜山幸孝, 寺澤捷年: 血小板減少症を合併した自己免疫性肝炎の一例. 第158回日本内科学会北陸地方会, 1993, 3, 石川.
- 2) 古田一史: 気管支喘息の随証治療. 第5回日本アレルギー学会春季臨床大会, 1993, 5, 東京.
- 3) 寺澤捷年: 特別講演「気をめぐって」. 第18回日本口腔外科学会中部地方会, 1993, 6, 富山.
- 4) 小暮敏明, 柴原直利, 古田一史, 嶋田 豊, 土佐寛順, 寺澤捷年: 和漢薬治療が奏功した, 栄養療法施行中に再燃を繰り返したクローン病の1症例. 第44回日本東洋医学会学術総会, 1993, 6, 仙台.
- 5) 寺澤捷年, 柴原直利, 土佐寛順, 今田屋章: 肘後方奔豚湯治験. 第44回日本東洋医学会学術総会,

- 1993, 6, 仙台.
- 6) 檜山幸孝, 嶋田 豊, 松田治己, 島田多佳志, 土佐寛順, 寺澤捷年: L-DOPA 治療中のパーキンソン病患者に対する和漢薬併用療法の試み (第3報). 第44回日本東洋医学会学術総会, 1993, 6, 仙台.
- 7) 松田治己, 引網宏彰, 古田一史, 嶋田 豊, 檜山幸孝, 寺澤捷年: いわゆる成人の「虚弱体質」群についての検討. 第44回日本東洋医学会学術総会, 1993, 6, 仙台.
- 8) 柴原直利, 小暮敏明, 松田治己, 嶋田 豊, 檜山幸孝, 寺澤捷年: 慢性肝炎における補中益気湯証の検討. 第44回日本東洋医学会学術総会, 1993, 6, 仙台.
- 9) 嶋田 豊, 土佐寛順, 檜山幸孝, 松田治己, 古田一史, 柴原直利, 小暮敏明, 寺澤捷年: 舌苔とPFD試験の関連性について. 第44回日本東洋医学会学術総会, 1993, 6, 仙台.
- 10) 引網宏彰, 柴原直利, 小暮敏明, 松田治己, 檜山幸孝, 寺澤捷年: 全身性進行性硬化症に伴う皮膚潰瘍に自家製桂枝茯苓丸が奏効した一例. 第44回日本東洋医学会学術総会, 1993, 6, 仙台.
- 11) 二宮裕幸, 土佐寛順, 金木英輔, 嶋田 豊, 奥田拓道, 寺澤捷年: 人間ドック受診者における和漢診療学的所見の検討. 第44回日本東洋医学会学術総会, 1993, 6, 仙台.
- 12) 津田昌樹, 小林 豊, 土佐寛順, 松田治己, 檜山幸孝, 寺澤捷年: 肝疾患に伴う筋攣縮に対する鍼治療の経験. 第44回日本東洋医学会学術総会, 1993, 6, 仙台.
- 13) 古田一史, 伊藤 隆, 引網宏彰, 檜山幸孝, 土佐寛順, 寺澤捷年: 瘀血症候群における血液レオロジー学的研究—桂枝茯苓丸の効果—. 第44回日本東洋医学会学術総会, 1993, 6, 仙台.
- 14) 土佐寛順: 腹候・舌候・脈候の関連に関する検討. 第44回日本東洋医学会学術総会, 1993, 6, 仙台.
- 15) 古田一史, 嶋田 豊, 松田治己, 引網宏彰, 寺澤捷年: 多発性脳梗塞患者における桂枝茯苓丸の赤血球集合への影響. 第10回和漢医薬学会大会, 1993, 8, 富山.
- 16) 高橋宏三, 小林秀男, 古林伸二郎, 木村郁子, 寺澤捷年, 木村正康: 慢性関節リウマチモデルマウスの培養滑膜細胞増殖と辛夷を中心とした和漢薬成分の抑制効果. 第10回和漢医薬学会大会, 1993, 8, 富山.
- 17) 塩谷雄二, 松田治己, 嶋田 豊, 城石平一, 寺澤捷年: 生薬「升麻」の抗炎症作用に関する研究. 第10回和漢医薬学会大会, 1993, 8, 富山.
- 18) 三猪忠道, 横澤隆子, 野中源一郎, 寺澤捷年: 和漢薬「大黄」の種類差による作用の異同に関する検討. 第10回和漢医薬学会大会, 1993, 8, 富山.
- 19) 小暮敏明, 高橋宏三, 松田治己, 嶋田 豊, 檜山幸孝, 寺澤捷年: 慢性関節リウマチに対する和漢薬の臨床的検討. 第5回中部リウマチ学会総会, 1993, 9, 富山.
- 20) 高橋宏三, 小暮敏明, 霜田ふゆみ, 寺澤捷年, 今田屋章: 当帰芍薬散加附子が奏効した慢性関節リウマチの1例. 第5回中部リウマチ学会総会, 1993, 9, 富山.
- 21) 塩谷雄二, 高橋宏三, 寺澤捷年, 小泉富美朝: サイコサポニンのカラゲニン空気嚢炎症における検討. 第5回中部リウマチ学会総会, 1993, 9, 富山.
- 22) 巽 武司, 古田一史, 平林多津司, 喜多敏明, 松田治己, 寺澤捷年: 桂枝加厚朴杏子湯が有効であったPIE症候群の一例. 第19回日本東洋医学会北陸支部例会, 1993, 10, 石川.
- 23) 南澤 潔, 柴原直利, 渡辺実千雄, 高橋宏三, 嶋田 豊, 寺澤捷年: 茯苓四逆湯が奏効した難治性下痢の一例. 第19回日本東洋医学会北陸支部例会, 1993, 10, 石川.
- 24) 貝沼茂三郎, 酒井伸也, 島田多佳志, 鎌田晃彰, 嶋田 豊, 寺澤捷年: 桃核承気湯が奏効したアトピー性皮膚炎の一例. 第19回日本東洋医学会北陸支部例会, 1993, 10, 石川.
- 25) 渡辺文恵, 引網宏彰, 柴原直利, 長坂和彦, 松田治己, 寺澤捷年: 防己黄耆湯が有効であった多発性嚢胞腎による慢性腎不全の一例. 第19回日本東洋医学会北陸支部例会, 1993, 10, 石川.
- 26) 寺澤捷年: 特別講演「瘀血をめぐる」. 第19回日本東洋医学会九州支部会, 1993, 11, 長崎.
- 27) 林 隆一, 日合三雄, 石田達樹, 数井 進, 深松順一: 病院総合情報システムの現況とその評価. 第13回医療情報学連合大会論文集, 1993, 11, 東京: 153-156
- 28) 川田やす子, 板倉俊子, 五十嵐藤子, 山口千鶴子, 林 隆一, 数井 進, 石田達樹, 日合三雄: 勤務スケジュールリングにパソコンを利用して. 第13回医療情報学連合大会論文集, 1993, 11, 東京: 685-686
- 29) 五十嵐藤子, 山口千鶴子, 川田やす子, 板倉俊子, 林 隆一, 数井 進, 石田達樹, 日合三雄:

看護職員の勤務時間管理システムの設計と運用.
第13回医療情報学連合大会論文集, 1993, 11, 東京 : 693-694

- 30) 喜多敏明, 西条寿夫, 永福智志, 寺澤捷年, 小野武年 : サル中隔核ニューロンの条件課題特異的応答. 第17回神経科学学会, 1993, 12, 名古屋.
- 31) Mizukoshi K., Watanabe Y., Aso S., Nakagawa H., Ohashi N., Shojaku H., Shimada Y., and Terasawa K. : Clinical Use of Kampo Medicine in Patients with Vertigo. Proceedings of XVIIth Barany Society Meeting, Czechoslovakia : 395-401, 1992.

◆ その他

- 1) 八瀬善郎, 丹沢章八, 荻原幸夫, 藤岡熹宏, 寺澤捷年, 納 光弘, 田代賀子, 山岡傳一郎 : スモン患者に使用する漢方薬の基礎的臨床的研究—黄耆桂枝五物湯加紅参の内皮細胞に及ぼす影響—(その2). 平成4年度厚生省特定疾患スモン調査研究業績集 : 257-260, 1993.
- 2) 寺澤捷年, 古田一史, 嶋田 豊, 島田多佳志, 檜山幸孝 : スモン患者における桂枝茯苓丸の赤血球集合能への影響. 平成4年度厚生省特定疾患スモン調査研究業績集 : 271-275, 1993.
- 3) 寺澤捷年 : 慢性関節リウマチの漢方治療. 第10回臨床和漢薬研究会, 1993, 8, 富山.
- 4) 松田治己 : 自家製桂枝茯苓丸の臨床効果と瘀血病態へのアプローチ. 日本東洋医学会北陸支部会湯本求真顕彰忌学術特別講演会, 1993, 9, 石川.
- 5) 高橋宏三, 寺澤捷年 : 当帰芍薬散が奏効した慢性関節リウマチの1例. カレントセラピー 11 : 175-177, 1993.
- 6) 島田多佳志, 寺澤捷年 : 八味地黄丸料と桂枝加朮附湯の併用によりADLの改善した慢性関節リウマチの1例. カレントセラピー 11 : 393-395, 1993.
- 7) 喜多敏明, 寺澤捷年 : 炙甘草湯が奏効した急性気管支炎の一例. カレントセラピー 11 : 575-578, 1993.
- 8) 小林 豊, 寺澤捷年 : 苓姜朮甘湯が奏効した下肢倦怠感の一例. カレントセラピー 11 : 835-837, 1993.
- 9) 塩谷雄二, 寺澤捷年 : 十全大補湯が奏効した老人の病後疲労倦怠の一症例. カレントセラピー 11 : 1045-1048, 1993.
- 10) 柴原直利, 寺澤捷年 : 補中益気湯が奏効したC型慢性肝炎の一例. カレントセラピー 11 : 1225-1227, 1993.
- 11) 引網宏彰, 寺澤捷年 : 桂枝茯苓丸により頭重感・腹満感が改善した脳動脈硬化症の一例. カレントセラピー 11 : 1391-1393, 1993.
- 12) 平林多津司, 寺澤捷年 : 黄耆建中湯が有効であった肩こりを伴う頭痛の一例. カレントセラピー 11 : 1623-1625, 1993.
- 13) 新谷卓弘, 寺澤捷年 : 半夏白朮天麻湯が奏効した頸肩腕症候群の一例. カレントセラピー 11 : 1815-1817, 1993.
- 14) 長坂和彦, 寺澤捷年 : 柴胡疎肝湯が奏効した肩こり, 頭痛の一例. カレントセラピー 11 : 1981-1983, 1993.
- 15) 鎌田晃彰, 寺澤捷年 : 香蘇散類が奏効した片頭痛の一例. カレントセラピー 11 : 2175-2177, 1993.
- 16) 古田一史, 寺澤捷年 : 芍薬甘草附子湯が奏効した慢性関節リウマチの一例. カレントセラピー 11 : 2379-2383, 1993.
- 17) 星野恵津夫, 衛藤公治, 寺澤捷年 : 和漢診療ケース・スタディ 脈候のとり方—かぜ症例を対象として—. JIM 3 : 83-88, 1993.
- 18) 星野恵津夫, 衛藤公治, 寺澤捷年 : 和漢診療ケース・スタディ 腹候をどうとらえるか—過敏性腸症候群とスモン病の症例を対象として—. JIM 3 : 173-177, 1993.
- 19) 星野恵津夫, 衛藤公治, 寺澤捷年 : 和漢診療ケース・スタディ 逐次修正の考え方—めまいの症例をめぐる—. JIM 3 : 265-270, 1993.
- 20) 星野恵津夫, 衛藤公治, 寺澤捷年 : 和漢診療ケース・スタディ 主証と客証 : 何をターゲットにするか—上腹部痛と頭痛を訴える患者をめぐる—. JIM 3 : 367-371, 1993.
- 21) 星野恵津夫, 衛藤公治, 寺澤捷年 : 和漢診療ケース・スタディ 証でなく病名による治療は可能か—食後の上腹部痛と胃のもたれ感の症例をめぐる—. JIM 3 : 465-468, 1993.
- 22) 星野恵津夫, 衛藤公治, 寺澤捷年 : 和漢診療ケース・スタディ 癌に対する漢方治療. JIM 3 : 553-557, 1993.
- 23) 安部宗顕, 三瀦忠道, 新谷卓弘, 後藤博三, 寺澤捷年 : 和漢診療ケース・スタディ 下痢2題—陰陽について—. JIM 3 : 654-659, 1993.
- 24) 安部宗顕, 三瀦忠道, 新谷卓弘, 後藤博三, 寺澤捷年 : 和漢診療ケース・スタディ 突然性質が変わった恋女房—瘀血と駆瘀血剤—. JIM 3 : 751-754, 1993.
- 25) 安部宗顕, 三瀦忠道, 新谷卓弘, 後藤博三,

寺澤捷年：和漢診療ケース・スタディ「水毒」について。JIM 3：847-850, 1993.

- 26) 安部宗顕, 三瀦忠道, 新谷卓弘, 後藤博三, 橋口悦子, 寺澤捷年：和漢診療ケース・スタディ「気虚」について一寝起きの悪い嫁入り前の娘一。JIM 3：949-953, 1993.
- 27) 安部宗顕, 三瀦忠道, 新谷卓弘, 後藤博三, 山本英彦, 寺澤捷年：和漢診療ケース・スタディ「気のうっ滞—気管支喘息らしき1例—」。JIM 3：1041-1045, 1993.
- 28) 安部宗顕, 三瀦忠道, 新谷卓弘, 後藤博三, 山本英彦, 寺澤捷年：和漢診療ケース・スタディ「血虚」について—アトピー性皮膚炎の1例—。JIM 3：1129-1133, 1993.
- 29) 数井 進, 林 隆一, 日合三雄, 石田達樹, 佐伯芳仁, 深松順一, 岡本則雄, 五十嵐藤子：ICDコードのfree text探索とその機能を利用した病名登録。平成4年度国立大学附属病院医療情報処理部門連絡会議・論文集：37-40, 1993, 京都。
- 30) 五十嵐藤子, 山口千鶴子, 林 隆一, 石田達樹, 数井 進, 日合三雄：当院の第II期システムにおける看護部門システムの開発について。平成4年度国立大学附属病院医療情報処理部門連絡会議・論文集：102-105, 1993, 京都。
- 31) 石田達樹, 林 隆一, 日合三雄, 数井 進, 佐伯芳仁, 深松順一, 岡本則雄, 川尻憲行, 五十嵐藤子：処方オーダーにおける薬剤の世代管理システムの開発導入。平成4年度国立大学附属病院医療情報処理部門連絡会議・論文集：178-181, 1993, 京都。
- 32) 林 隆一：保存カルテ（医療情報）のもたらすもの。医療情報学 10周年記念特集号：印刷中。

人間科学・基礎看護学

教授 高間 静子

◆ 原 著

- 1) Takama S., Imae J.: Nurse's attitudes to pain control for cancer patients in Japan. Cancer in China and Japan, pp153-158, Japan-China Association. 1993.
- 2) 高間静子：在日本国対癌症晚期患者陪住家属的護理度。中国護理学会雑誌 28：373-375, 1993.
- 3) 浜畑章子：糖尿病で入院した高齢者のセルフケアの認識。看護実践の科学 18：78-81, 1993.

◆ 学会報告

- 1) 浜畑章子, 高間静子, 澤田愛子：末期癌患者に付き添う家族のDistressと看護に対する必要度意識との関係。第19回日本看護研究学会, 1993, 7, 熊本。
- 2) 澤田愛子, 浜畑章子, 高間静子：末期癌患者に付き添う家族の背景からみた看護に対する必要度意識。第19回日本看護研究学会, 1993, 7, 熊本。
- 3) 高間静子, 浜畑章子, 澤田愛子：末期癌患者に付き添う家族の満足度と受けた看護度との関係。第19回日本看護研究学会, 1993, 7, 熊本。
- 4) 五味知治, 小川宏文, 浜畑章子, 藤岡基二：アミノ末端アセチル化はグリシンメチルトランスフェラーゼのアデノシンメチオニン結合に関する正の協同性を与える。第66回日本生化学大会, 1993, 10, 東京。